



西中だより

令和7年12月25日(木)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 高岡 健

サイバー犯罪特別授業

11月27日(木)5,6校時に「山梨県警と慶應義塾大学の学生によるハイブリッド型サイバー防犯特別授業」が行われました。交流サイト(SNS)などを使ったサイバー犯罪に巻き込まれないよう、慶応大学の学生8人と教授、山梨県警から4名の警察官とふじ君

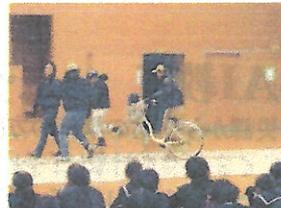


が講師として来てくれました。はじめに、県警のサイバー犯罪対策課の方が SNS を利用する時は自分でブレーキを欠けること、ルールを作ることが必要だということをわかりやすく説明してくれました。次に、若者の被害を少しでも減らす啓発のために慶応大学で開発した教育プログラムでの授業を行いました。講師が一方的に教えるのではなく、クイズを交えて知らず知らずのうちに犯罪に巻き込まれてしまう危険性を教えてくれました。闇バイトの危険性などを考えるため小グループでの話し合いに大学生が入った意見交換や発表もあり、中学3年生がサイバー犯罪を自分事として捉えることができた貴重な授業でした。



スケアードストレイト 自転車安全教室

12月4日(木)5校時に1年生を対象に体育館で「スタントマンが再現 スケアードストレイトによる自転車事故」と題して自転車安全教室が開催されました。「スケアードストレイト」とは、怖い思い、ヒヤッとする体験を通じて啓発効果を高める教育技法です。具体的には、スタントマンによるリアルな交通事故再現という手法を取り入れたものです。この教室は交通安全の意識向上を図るとともに、交通ルールと正しい交通マナーの理解により、自転車の



交通事故を抑止することを目的として開催されました。体育館を道路としてスタントマンが実際に自転車を運転するときの危険性を教えてくれました。1年生の代表の生徒は安全運転の見本を示してくれました。スタントマンの演じる自転車の事故の様子はとても迫力があり、事故の恐ろしさを知ることができました。

三校合同いじめ防止会議

12月8日(月)4校時にオンラインで池田小と舞鶴小と西中で「三校合同いじめ防止会議」を開催しました。生徒会長からいじめはどの学校でも起こる可能性があるが、なくしていきたいと強い決意が示され、次に甲府市の少年市長からの「いじめ追放宣言」やいじめ防止のためのメッセージをみんなで聞きました。教室では生徒が真剣に耳を傾ける姿があり、いじめは決して許されるものではないとあらためて確認することができました。小中学校三校からの日頃の取り組み発表の後、私たちにできることを班ごとの小グループで話し合い、池田小、舞鶴小、西中の順で発表しました。また、樋口市長からは悩みを相談することの大切さ、思い遣る気持ち、違いを認め合うこと、命の大切さなど、いじめ防止に対するメッセージをいただきました。最後に西ブロック全体でいじめを起こさない、見過ごさないなどのことが確認されました。西中学区が温かい地域になるよう、思い遣りの心を大切にしたいと思えます。

